

公明党 東日本大震災復興加速化本部

本部長 井上 義久 様

大熊町の復興に関する要望書

令和 3 年 4 月 24 日

福島県大熊町長 吉田 淳

福島県大熊町議会議長 吉岡 健太郎

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により全町避難を強いられてから、10年1か月が経過しました。

当町では、平成31年4月10日に避難指示解除準備区域及び居住制限区域について避難指示が解除されました。また、平成29年11月の特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定により、帰還困難区域の一部においても、避難指示解除に向けて国による除染が進められております。

昨年3月5日には帰還困難区域の一部における避難指示区域の先行解除及び立入規制の緩和がなされ、本年3月8日には立入規制の緩和区域が拡大されております。

公共交通機関においては、昨年3月14日にJR常磐線全線の運転が再開され東京、仙台などの主要都市との往来が可能となりました。

当町は、復興に向けた一歩を踏み出した一方、人口の約96%が居住していた帰還困難区域全域の帰還環境整備・避難指示解除に向けた取り組みは、今もって大きな課題であります。

原発事故によって深刻な被害を受け、さらには、福島復興のため中間貯蔵施設建設を苦渋の決断で受け入れた当町の復興が決して置き去りにされることのないよう、次の点について、強く要望致します。

1. 帰還困難区域全域の避難指示解除による帰還の促進

当町の特定復興再生拠点区域外(以下拠点区域外)の帰還困難区域は、住宅地であり、病院や工場等が立地し、また、町内でも優良な農地が存在していた、町にとって欠かすことのできない地域である。これらの地域の除染、家屋等の解体、避難指示解除の見通しが国から示されていないため、町全体の復興の道筋が定まらないだけでなく、避難指示解除が見込まれる拠点区域でも町民の帰還促進の妨げとなっている。

町土全域の除染の完了は、福島県全体の復興と古里の復興との狭間の中で苦渋の決断により中間貯蔵施設の建設を受け入れ、長期避難を余儀なくされた町民の思いである。

また、「原発事故による帰還困難区域を抱える町村の協議会」でも6月までに拠点区域外の方針を明示するよう要望したところである。

当町においても、夏には避難指示解除のための住民説明会を予定しているが、拠点区域外の方針を示せないまま町民の理解は得られず、令和4年春の避難指示解除が危ぶまれる。

これらを踏まえ、拠点区域外についても、国が早急に方針と時間軸を示しつつ、除染・解体するための方策を講じ、早期に町民の望む帰還困難区域全域の避難指示を解除すること。

2. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域における宅地及び家屋等の先行的除染・解体の実施

現在、特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域に現存する家屋等については除染及び家屋等の解体の対象とはなっておらず、自宅の荒廃を目のあたりにしている町民からは、「自宅が朽ちていく様を見ていられないので解体してほしい」、「いつまで除染を待てばよいのか」など、悲痛な声が多数寄せられている。また、一時立入りする町民の被ばく線量の累積、災害発生時の放射性物質の流出等が懸

念されるほか、管理不全家屋での火災や延焼、治安の悪化、イノシシ等の野生動物の問題等、多くのリスクは既に顕在化している。

さらに、廃屋となった家屋等の解体や除染が具体化しないことで、拠点区域外の帰還困難区域の土地利用を検討できず復興の妨げとなっている。

これらを踏まえ、避難指示解除の見通しが立っていない拠点区域外の帰還困難区域に現存する家屋や宅地について、先行的に除染・解体を実施すること。

3. 現場の特性や汚染状況に応じた除染の実施

福島第一原子力発電所が立地する当町は、帰還困難区域を有する他の自治体と比較して空間線量の高い場所が多く、従来の除染方法では避難指示解除の要件である空間線量率の年間20mSvを下回らない場所が多数あり、除染検証委員会でも指摘されている。この場所は、町の中心部であり、最重点事業として進めている駅前再開発事業区域にも面している。このままでは令和4年春の拠点区域全域の避難指示解除ができず、ひいては当町の将来構想に大きな影響を及ぼすのではないかと危惧している。

国は、除染関係ガイドラインの見直しと、現場の特性や汚染状況に応じた丁寧な除染を実施するとともに、既に除染が済んだ場所でも空間線量が避難指示解除の基準に満たない場所や、線量低減効果が得られていない場所については、漏れのない洗い出しと追加除染を早急に行い、秋に予定される準備宿泊の前までに拠点区域全域を避難指示解除の空間線量率の基準以下にすること。

(本件事務取扱) 大熊町役場企画調整課長 永井 誠

電話:0240-23-7584

住所:福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1717